



装備も一新して高規格救急車

3月12日 消防署

安全・安心の要、消防署の救急車が新しくなって運用がはじまりました。

これまで使用していた高規格救急車も走行距離が20万キロを超えたことから、常に万全の体制で出勤するため、また、人工呼吸器、除細動器などの装備品も、より精度の高いものにバージョンアップしてお目見えしました。山岳地帯の多い本町の奥地での通信にも使えるよう衛星携帯も備え、さまざまな災害、事故から住民を守ります。救急出動要請の時はルールを守ってお願いします。



町内小中学校で457名の卒業

3月13～20日 各学校

今年も町内各学校で卒業式が行われ、卒業する児童生徒を持つ父母にとっては晴れがましくも、目頭が熱くなる光景が見られました。

男女合わせて123名が巣立つ当別小学校では、卒業証書授与に引き続き、在校生による器楽演奏やお祝いのエールに、卒業生がお礼のメッセージや歌を披露しました。表紙の弁華別小学校では7名が卒業し、兄弟のように生活してきた在校生19名との別れを惜しみました。いずれも我子の成長を見てきた保護者には特別な日に感じられたことでしょう。



本格的舞台の上演！「春の夜想曲」

3月2日 ふれあい倉庫

ふれあい倉庫で、本格的舞台演劇が上演されました。当別ふくろう隊他が主催し、札幌を拠点に活動している劇団「TPS (シアタープロジェクト札幌)」による公演で、同劇団員で脚本家でもある斎藤歩氏は、5年前に総合体育館で上演された町民劇「石狩川」の脚本、演出を担当しました。今回は作曲にも挑戦しており、札幌交響楽団のチェリスト、土田英順氏も出演するなど、生演奏が随所に盛り込まれた演出に、100名の観客もその魅力に圧倒されていました。